



(進行：委員長)

事務局	<p>5 協議事項</p> <p>(1) 平成30年度保育所運営費の概要について</p> <p>資料No.1 保育所運営費の概要</p> <p>平成30年度保育所運営費の予算。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・支出として、総額 588,344,000 円。</li></ul> <p>&lt;内訳&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・報酬 10,164,000 円。給料 133,216,000 円。職員手当等 62,173,000 円。共済費 56,912,000 円。賃金 119,296,000 円。以上が人件費となっている。</li><li>・報償費 438,000 円。旅費 361,000 円。</li><li>・需用費 56,854,000 円。主に保育園の給食の食材にかかる費用が多くを占めている。</li><li>・役務費 800,000 円。電話代や保険の加入になっている。</li><li>・委託料 120,629,000 円。大きなものとして、大口中保育園に支払っている民間保育所運営費がある。</li><li>・使用料及び賃借料 2,343,000 円。大きなものとして、南保育園の駐車場の土地代となっている。</li><li>・備品購入費 6,601,000 円。こちらは、保育園の備品の購入費となり、今年度は南保育園・西保育園の年少の木製の机及び椅子の購入を予定している。</li><li>・負担金補助及び交付金 18,557,000 円。</li><li>・収入として、総額 194,029,000 円。</li></ul> <p>&lt;内訳&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・国・県支出金 55,636,000 円。</li><li>・保育園利用者負担額 125,574,000 円。保護者の皆様にお支払いいただいている保育料になる。</li><li>・その他 12,819,000 円。延長保育の利用料や休日保育の利用料となる。</li><li>・支出額から収入額を差し引いた町の負担額が 394,315,000 円。</li></ul> <p>園児一人あたりの費用額。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・支出の総額を年間延べ園児の見込み数、平成30年4月1日現在の園児数に12か月を掛けたものを7,152人で割ると、1人当たり82,262円となる。うち町負担分55,133円。全体の67.0%となる。</li><li>・保護者の皆様にお支払いいただいている利用者負担額については、17,557円。全体の21.3%になっている。</li><li>・国・県支出金・その他 11.7%。</li></ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・保育所運営費の各保育園から出された予算要望は反映されているか。</li></ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反映されている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西保育園の生活発表会に出かけた時に、もう少し良い音響設備があると良いと感じた。子どもたちも頑張っているので、各保育園も要望を出してもらえると良いと思う。</li> </ul>
保育長	<p>(2) 平成30年度の保育所運営について (保育長・各園長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最近、自然災害が多く発生している。大口町では、地震についての防災訓練を中心に行っている。保育園においても、平成26年度に作成した危機管理マニュアルがあるが、昨年度から継続して見直しを行い、安心安全な保育が行われるよう努めている。</li> <li>・緊急引き渡し訓練を2月の保育参観に行ってきたが、今年度から5月の保育園参観で行い、いち早く練習していただく事にした。役員さん方は、バザー等でバタバタしたかと思うが協力していただけた。</li> <li>・家族で話し合いながら、訓練と共に機会を持って保育園や家庭も安心安全な生活が送れるようにしていきたいと思っている。</li> </ul> <p>園児数 (資料 No.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年5月1日現在の園児数となっている。</li> <li>・南保育園 3歳以上児94名で5クラス。3歳未満児42名。計136名。職員として園長はじめ保育士、調理員、看護師・短時間保育士を含め29名で保育している。</li> <li>・西保育園 3歳以上児123名で6クラス。3歳未満児45名。計168名。職員34名で保育している。</li> <li>・北保育園 3歳以上児120名で5クラス。3歳未満児57名。計177名。職員37名で保育している。</li> <li>・大口中保育園 3歳以上児89名で4クラス。3歳未満児40名。計129名。職員31名で保育している。</li> <li>・保育園合計3歳以上児426名。3歳未満児184名。総合計610名のお子さんをお預かりしている。今後、誕生日を迎えての入所、育児休業明けで職場復帰される方等、途中入所児44名が増える予定となっている。</li> <li>・保育所定員660名にほぼ近い人数となってきている。職員数については、短時間保育士が多くなってきているので、保育園によっては職員が大変多く感じられるかと思うが、どの保育園においても園児数と必要職員数は配置の基準に適している。</li> </ul> <p>年間計画 (資料 No.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手元の資料は、各保育園別の年間計画となっているので、共通部分の説明を</li> </ul>

させていただく。

- ・5月中旬に各保育園で保育参観。年少児親子試食会。緊急時引き渡し訓練を行った。町立保育園では、健康生きがい課保健師による子育て講座も行った。
- ・年長児フッ化物洗口については、5月中旬から行っている。歯科事業をより意識し、虫歯予防できるようにと半月程早く始めている。
- ・6月から7月にかけて、懇談会と3歳以上児の音楽会を予定している。
- ・10月6日、秋の運動会。30年度は、各園で行う予定となっている。
- ・12月1日、3歳以上児対象に生活発表会を行う。昨年度の3月の保育所運営委員会でも少し説明させていただいたが、劇遊びやごっこ遊びの大切な部分を取り上げ、発表会の内容の見直しを行っていく予定である。
- ・2月、全園児の保育参観を予定している。
- ・3月28日、保育園卒園式となっている。
- ・生活発表会についての補足説明。保育の基礎となる保育指針が改定された。平成29年3月31日に告示され、4月1日から適用となっている。保育指針の改定に伴い、劇遊びの大切な部分を取り上げ、見直しということになった。今までも、子どもが主体的に行っていたが、さらに子ども中心、主体的にと考えている。見栄えということから、衣装を派手にしたり、相手の顔を見てというより、保護者の方に顔が見えるように少し前向きにするなど、劇遊びをしている中で、違和感ある動作等もあったが、そんなところを見直しながら、子どもたちから自然にでた言葉、動作、アイデアを取り入れ、多少横向きになったりなど、製作についても子どもたちが作った作品をそのまま出したりと、今までとは少し違った発表会になるかとは思いますが、十分ご理解をお願いしたいと思う。衣装についても、役にふさわしい物を保護者をお願いしてきた部分もあるが、少し役がわかる程度のお面などで代用できればと思う。今までと少し感じが違ってくるかと思うが、ご理解していただきたい。

毎日家庭で行える子育て3か条について（資料 No.4）

- ・小学校が子育て10か条を作成したということで、保育園の方でも小さな子どもたちが家庭で行える子育てということで、幼稚園と保育園の職員が協力し合いながら、作成したものである。平成27年度より、保護者が集まる機会に配布している。

～夢追い求め 1人ひとりがきらめくまち 大口～

子どもに笑顔であいさつしましょう

子どもの目を見て会話をしましょう

子どもをギュッと抱きしめてあげましょう

委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「元気に挨拶」「目を見て会話」「スキンシップ」ということで、保育士も気を付けて行っている。保育園と家庭で一丸となって子育てに取り組んでいきたいと思う。</li> <li>・会話をする時に、子どもの目を見て話しあいをしようという記事が新聞に載っていた。目を見て話しをするというのが、子ども自身一番嬉しいのではないかと思う。3か条を心に置いて接していただければと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大変良いことだと思う。定着状況はどうか。</li> </ul>
保育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶は、民生委員さんのあいさつ運動をはじめ、地域の方の挨拶・保育士と子ども・保護者の方との挨拶など、しっかり挨拶しましょうということで、保育園の方でしっかりとなされている。</li> <li>・目を見て会話をするということは、保育の勉強をしていくところでの基本である。子どもが小さいので、腰を低くして視線を合わせながらということを保育の中に取り入れているのが現状である。</li> <li>・子どもをギュッと抱きしめるということは、子どもは褒められるというのは大変嬉しいものである。言葉だけで褒めるのではなく、子どものどこかの部分を触ったり抱きしめたり、動作をつけながらしていくことは、常に保育士の中でも話している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南の子はよく挨拶をするが、西の子はしないと言われていた。最近では、西小の子もずいぶんできるようになった。大口の子は挨拶をすると、頑張ってもらいたい。最低3つはやってもらおうと、小学校・中学校と素晴らしい子ばかりになる。</li> </ul>
保育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成するときに、一番取り組みやすい3つに絞っているのも、頑張ってもらいたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動は、私たちも月1回保育園・小学校・中学校と行っている。私は余野なので、西保育園に行くが、民生委員が行くと子どもたちみんな寄ってくる。笑顔で挨拶してくれる。</li> <li>・小学校の10か条は難しい。この3本に力を入れると、相乗効果で他にも良くなる。</li> </ul>
保育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長もみんないるので、頑張る。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・孫にもギョッとするようにした。大変良いことだと思う。私は祖母なので、直接いただくことがない。一年に一度で良いから、広報に入ると良いのではないか。</li> </ul>
保育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆様の力を借りながら、子どもたちを育てていきたいと思う。機会を設けて検討していきたいと思う。</li> </ul>
保育長	<p>町立3保育園及び大口中保育園の取組み 4園分パンフレット（資料No.5）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一年を通して木育・食育・体力を3本柱にして取り組んでいる。</li> <li>・木育では、木に触れて楽しく遊び、木からいろいろなことを学んでいる。年中親子のマイ箸作り。年長児の里山遠足。箸を作ることによって、食育に繋がるだけでなく、作業の途中で助け合う大切さ、作り上げた物を大切にすることを学んでいく。木育は命の移し替えから命の大切さまで学ぶ奥深いものとなっている。父母の会の協力をいただきながらオイスカのつみ木広場も開催予定となっている。</li> <li>・食育では、保育園の畑を利用することや、スチコンの導入により、メニュー幅が広がった。おいしく、楽しく食べられる給食メニューの展開ができると良いと心がけている。</li> <li>・体力づくりにおいては、それぞれの保育園の保育環境を活かしながら、目標を持って積極的に取り組んでいきたいと考えている。保護者の皆様や地域の皆様と力を合わせて、子どもたちと楽しい生活や遊びが展開できるよう、計画的に進めていきたい。</li> <li>・各保育園取組みについて園長より順番に説明させていただく。</li> </ul>
南保育園長	<p>資料No.5-①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町立南保育園は、3歳以上児93名、3歳未満児40名、合計133名で新年度がスタートした。現在は、以上児も未満児も増えている。</li> <li>・新入園児も園生活に徐々に慣れ、友だちや保育士と一緒に楽しく遊ぶことができるようになった。また、進級児は新しい環境の中、新入園児の世話をするなど、頼もしい成長の姿が見られる。</li> <li>・保育目標「豊かな心と丈夫なからだでよく遊ぶ子ども」を基に、一人一人の気持ちに寄り添い、様々な体験を通して、豊かな心を育てる保育を目指している。</li> <li>・園の周りは田畑に囲まれ、四季折々の草花が咲くなど、自然環境にとっても恵まれている。大勢の友だちと保育園生活を送る中で、様々な体験を通して考え、育ちあえる場として、また、家庭との連携を密に、子育て出来るような</li> </ul>

保育園作りを目指している。

- 豊かな心を育てる保育活動として、一番に木育活動。町立保育園として取り組んでいる木育活動の一環として、南保育園では木を知り豊かな心を育むを基に、年齢にあった活動を進めている。
- 年少児は一年を通して、一番身近な保育園の園庭の木に親しむことを目標として、園庭めぐりカードを一人一人が持ち、カードに書かれている木を見つけるとシールを張るという遊びを通して名前を覚えた。年中児は、親子でマイ箸作りをし、その箸を給食で使用し、楽しく食事をしている。年長児は、園近くにある天神社の絶滅危惧種といわれている、まめなしの木の観察を行った。
- 絵本の読み聞かせ活動。年齢に合わせた季節感のある絵本を毎日読んでいる。保護者の有志の方で、読み聞かせボランティア「友ちゃんズ」を結成し、1回から2回ほど降園前の時間に読み聞かせをしていただいている。子どもたちは、絵本の世界の楽しさに浸りながら、想像力を育み、人の話をしっかり聞く力が身についてきている。今年度は6月から活動を始めていただく予定である。
- 郷土を愛する心を育む活動。大口町歴史民俗資料館の学芸員さんに、園周辺地域（大口町南地域）にまつわる話を聞いたり、映像や写真を見せてもらったあとに、一緒に現地に行って話を聞いている。自分の住んでいる地域のことを知ることもでき、郷土を愛する心を育むことを大切にしていきたいと思ひ、裁断橋物語や長松寺の汗かき地蔵について学ぶ予定である。
- 南食育サポートさんとの食育交流事業。園北側にある地域の方の畑をお借りし、南食育サポートの方に栽培の指導をしていただいている。子どもたちは、野菜を身近に観察し、世話をしている。給食の食材に取り入れて食べる喜び、人や物への感謝の気持ちを育てていきたいと思っている。今年度は、年長児と年中児がいちごの収穫をして給食の時間に食べた。沢山いちごが採れたので、年少児や未満児の子も食べることができた。特に年長児や年中児は、自分で摘んだいちごは特別においしいようで、「買って食べるいちごより甘いよね」と話す姿が見られた。
- 大口町立南小学校との交流。南小学校の福祉委員・図書委員のお兄さん、お姉さんが保育園を訪れ、一緒に遊んだり絵本の読み聞かせをしたりして、交流を深めている。
- 祖父母交流。園児の祖父母と伝承遊びやふれあい遊びを楽しんでいる。年長児は地域の方にご指導をいただきお茶会を開き、お点前を披露している。地域の方との交流活動を増やし、フォークダンスをしたり、おやつを一緒に食べるなど、地域の方との交流を深めている。昨年度は、地域の方との交流を

	<p>持つ中で、毎月保育園で行っている避難訓練に参加していただいた。地震・火災避難方法の話聞いた後に、第一避難場所、第二避難場所、地域の避難場所である南小学校まで一緒に避難していただく予定だったが、あいにくの雨で、軽度の地震という想定に変更して行った。今年度は、天候にもよるが、再度地域の方の力をお借りし、一緒に最終避難場所である南小学校まで避難をお願いできればと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も今まで以上に、自分たちの町や地域のことを知り、子どもたちが愛着を持って成長できるよう、地域の方と連携を取りながら、南保育園ならではの活動の場を広げていきたいと思う。</li> </ul>
<p>南保育園 会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月19日 父母の会お楽しみ会 ミスタードーナツの方に来ていただく。</li> <li>・ 8月6日 オイスカ</li> </ul>
<p>西保育園長</p>	<p>資料 No. 5-②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町立西保育園は、30年度5月現在、3歳未満児が45名、3歳以上児が、123名の168名の子ども達が、入園進級式から2か月がたち、新しい環境にも慣れ、毎日、元気よく生活している。</li> <li>・ 天気の良い日には、園庭の築山や固定遊具で遊んだり、かけっこをしたり、また、年長児が年少児のお世話をしたりして、頼もしい姿がみられるようになった。</li> <li>・ 未満児から5歳児の発達に応じた目標の中で、今年度も3本の柱「体力作り・木育・食育」を主な取り組みとして進めていく。</li> <li>・ 西保育園の特色の体力作りでは、年齢に応じた運動遊びを行っていく。園庭の鉄棒で、ぶら下がる、足掛けをする、前回りをする、逆上がりするなどの目標を年齢に応じて設定し、できるようになった喜びを子ども達と共に共感している。未満児や3歳児では、園周辺にある歩道橋を利用して、繰り返し、歩き足腰を鍛え、体力作りをしている。</li> <li>・ 園内こどもの日、小運動会を行った。保育士や子ども達の声援の中、年齢に応じた距離を決め、年長児はトラック1周のリレー、年中児は、トラックの3分の2かけっこ、年少児は、直線を走った。</li> <li>・ 春の遠足で、余野中央公園へ行った。年長児が年少児と手をつなぎ一緒に歩いた。年少児は、歩道橋の上り降りなど頑張った。</li> <li>・ 今年度も年間8回の体操教室を実施し、柔軟な体作りや心身のたくましさを養っていく。</li> <li>・ 食育では、食育サポート11名の皆さんと苗植えから収穫までを一緒に行い、観たり、触れたり、収穫したりして楽しんでいる。収穫した野菜で、</li> </ul>

<p>西保育園 会長</p>	<p>クッキングをしたり、収穫祭をしたりして食育サポートさんとの交流を図りながら、食の大切さを知らせていく。4月・5月には、子ども達一人一人がいちご狩りや玉ねぎを収穫して、大喜びだった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木育では、白山ふれあいの森を題材として、7本の木（マテバシイ・クロガネモチ・ヤマモモ・シダレザクラ・クスノキ・シラカシ・ヒノキ）を子ども達と観察する。四季の変化に気づきながら、木の実や木の葉を使った自然遊びも取り入れていく。また、年長児の秋の遠足では、21世紀創造の森へ出かけ、伐採風景を観ながら、身近な自然として関心を深めていく。年中児では、マイ箸作りを親子で体験し、給食でマイ箸を使うことで、物を大切にする気持ちを育ていく。</li> <li>・交流活動では、異年齢児交流や地域交流をし、民生委員さんの毎月1回の挨拶運動、余野区の夏祭りや千歳会の皆さんと触れ合いを楽しみ、やさしさ・思いやり、感謝の気持ちが育つよう取り組んでいく。また、昨年度から郷土愛活動、郷土を知るといことで、身近な白山ふれあいの森の古墳や徳林寺の山姥物語を歴史民族資料館職員に教えてもらう。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月6日 オイスカ</li> <li>・7月14日 バザー</li> <li>・9月14日 祖父母交流会 ピアノのアンサンブル</li> <li>・2月 大型絵本</li> </ul>
<p>北保育園長</p>	<p>資料 No. 5-③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町立北保育園は、3歳未満児61名、3歳以上児120名、合計181名の子ども達と新生活がスタートした。昨年9月に新園舎が完成し木のいい香りや感触・通気性のよさ、四季の変化を感じる木造の園舎で生活している。</li> <li>・進級した年中・長児そして新入園児は、木の香りを体感しながら広い回廊での開放的な気分や木のぬくもりを味わっている。</li> <li>・北保育園では、9年ほど前から縦割り保育を大切にしている。年長児は、不安げな新入児のトイレに付き添ったり、午睡の着替えや布団の準備、散歩活動では手を繋いで引率など頼もしい成長の姿を見せてくれている。</li> <li>・職員も明るく元気に子ども達を受け入れ、園児個々の気持ちに寄り添い、家庭との連携を蜜に、親子の子育て支援ができる保育園づくりを目指していきたいと思っている。</li> </ul> <p>&lt;豊かな心を育てる保育活動として&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢に応じた体力作りとして、芝生の園庭で、ストレッチ体操・移動式鉄棒・サーキット遊びなど各年次に課題をもって体力作りをする。園庭は勾配</li> </ul>

	<p>もありそれを活かした遊びができる。また、幅3メートル長さ150メートルある回廊を使った遊びも行っている。未満児クラスは専用の園庭があり、安全に遊ぶことができ日々体を動かしている。園外散歩を多く設定し、自然に親しみながら体力づくりにも心がけていきたいと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育として、西門前に地域の方から畑をお借りし、父母の会の方の協力や地域の方と一緒に様々な食の体験を積み重ねながら、新鮮な野菜を身近に観察・世話をし、収穫して食する喜びや感謝の気持ちを育てていきたいと思っている。また、地域の方より声をかけていただき、ハーブ畑でカモミール摘みをしたり、地域の方が作ってくださった園のいちご畑で大きな甘いいちごを収穫し旬のいちごの美味しさを味わわせていただいた。</li> <li>・木育を通した異年齢児交流として、木に親しみながら箸づくりや木片の積み木作りまた木に関する絵本の読み聞かせ、回廊やクラスの柱磨きなど木造園舎の環境を使った活動や昨年から取り組んでいる「MOTTAINAI 工房」では子ども達の作品を保護者の方々に見て頂いた。今年度も続けて行っていく。</li> <li>・こうした木育活動の他にけん玉遊び・英語で遊ぼう・体操教室・祖父母交流・地域交流（夏祭りの盆踊り・和太鼓・餅つきなど）を通して、「子どもを真ん中においたまちづくり」を目指していきたいと思う。</li> </ul>
<p>北保育園 会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月13日 オイスカ</li> <li>・ 11月 陶芸教室</li> <li>・ 1月 ダッシュマン</li> <li>・ 3月 読み聞かせ</li> </ul>
<p>大口中保育 園長</p>	<p>資料 No. 5-④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宝光福祉会大口中保育園では、平成30年度5月1日現在、年長児1クラス28名、年中児1クラス30名、年少児2クラス31名、3歳未満児は0歳児1名、1歳児17名、2才児22名の合計128名でスタートし、2歳児と0歳児の途中入園があったので、現在130名の園児をお預かりしている。</li> <li>・ 大口中保育園の特色として、体力作り・食育活動・地域の方との交流に取り組んでいる。</li> <li>・ 特に力を入れて取り組んでいる活動は、体力作りである。運動遊びを中心に、楽しく遊ぶ中で、自然と体幹が鍛えられたり、腕の力がつく、足腰が丈夫になるなどの効果が表れきている。</li> <li>・ 安田式の可動式遊具を取り入れ、戸外はもちろん室内でも大きさが違う鉄</li> </ul>

<p>大口中保育園 会長</p>	<p>棒・平均台を組み合わせサーキット遊びに取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日行っている朝の10分間のサーキット遊びでは、以上児を中心に鉄棒や雲梯、平均台の橋渡や大縄跳びなど、いろいろな遊びで全身を使い体の発達を促している。また、夏期の間だけだが、足の指を刺激し体のバランスを整え鍛える目的からビーチサンダルを使用している。鉄棒のぶら下がり、ビーチサンダルの使用などの取組みは3年前から始めている。</li> <li>・今年の年長児の様子を見ていて、鉄棒にぶら下がると、自然に足も上がるようになり、いつの間に逆上がりができるようになったのかと驚くほどである。継続は力なりを毎日実感している。</li> <li>・今年度から、年少・年中児は体操服を導入し、年長児も白短パン、Tシャツに着替え、「さあ、運動するぞ！」と心のスイッチを入れ、目一杯汗をかきながら週一回の体操教室や運動遊びの日を楽しんでいる。</li> <li>・園児が思いっきり伸び伸びと身体を動かし、様々な動きを身に着けることができるよう、運動遊びを日々の保育に積極的に取り入れている。</li> <li>・地域の方との交流では「城址の共」の方々と季節の野菜栽培・各年次の収穫野菜を使ったクッキング・季節のおやつクッキングを経験し、季節行事での交流を続けている。</li> <li>・手作りおやつの工夫として、今年度も新しいメニューも取り入れ、サンプル紹介をさせて頂いている。年間を通して週2回～3回の手作りおやつは、季節の食材を使ったものや、家庭でも手軽にできるおやつなどを提供し、毎月の食育便りやホームページに掲載している。</li> <li>・外国人講師による英語で遊ぼう（月1回）、年少は11月から経験していく。</li> <li>・読み聞かせボランティア：メリーゴーランドさんによる絵本の読み聞かせを行う。</li> <li>・絵本の貸し出しを7月から行う。</li> <li>・生の歌や楽器の演奏を聴く機会を設け、情緒面を育てる取組みも父母の会と一緒に行っていききたいと計画している。</li> <li>・行事や普段の園生活の中でのスナップ写真を年間5回展示販売させて頂いている。また、年長児は一人ひとりオリジナルの卒園記念アルバムを作成していく。</li> <li>・一人一人違う個性や感性の伸びていく方向をしっかりと見極め、ありったけの愛情で支えていきたいと思う。</li> </ul> <p>・4月5日 入園進級式で父母の会会費の徴収のお願いと父母の会の方針を伝えた</p> <p>・4月9日 東海テレビ「すくすくポン」テレビ収録</p>
----------------------	---

- |  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 6月20日 環境と防犯についてのお話会</li><li>・ ヤマト運輸や楽器を使った音楽のイベントを計画している</li><li>・ 資源回収 3回の予定</li><li>・ 9月 バザー 初めて土曜日開催の予定</li><li>・ 七夕まつり・運動会など役員15名全員で力を合わせて行いたい。</li></ul> |
|--|---|